

アスパラガスにおける化学農薬を軽減したアザミウマ類の防除体系の実証

要約

アスパラガスにおけるアザミウマ類に対し、化学農薬以外の防除法を組み合わせで検証した結果、天敵農薬の使用でアザミウマ類の防除効果が期待できることが分かった。天敵農薬により化学農薬の散布回数が減り、身体的負担及び労力の軽減に繋がった。

土着天敵を利用した防除効果は明確に確認することが出来なかった。土着天敵をハウス内へ誘引する効果的な手法など、更なる検討が必要であると思われた。

○ 展示のねらい

アスパラガスにおけるアザミウマ類の防除として化学農薬が利用されているが、適用薬剤も少なく、薬剤抵抗性の発達も懸念されているため、化学農薬以外の防除法の効果と省力化を検証する。

○ 主な成果

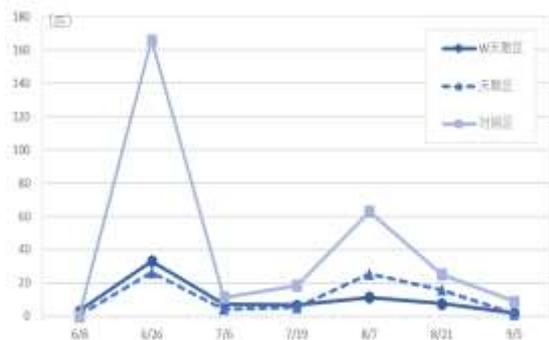


図1 アザミウマ類の捕殺数

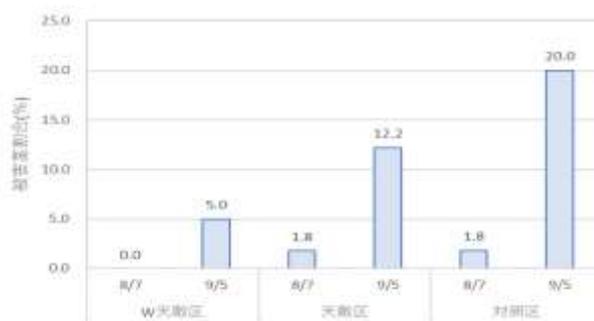


図2 若茎の被害割合

- ・アザミウマ類の捕殺数は、天敵を活用することで低い密度に抑えられた（図1）。
- ・被害若茎の発生の割合は、対照区が最も多くなった（図2）。ただし、ほとんどの被害は非常に軽微なものであった。
- ・土着天敵におけるアザミウマ類防除の効果は明確に確認することは出来なかったが天敵温存植物（バーベナ、紫LED）への誘引、定着は確認できた。
- ・天敵農薬の放飼にかかった時間は、1棟（2a）当たり3分程度であった。
- ・殺虫剤の散布回数は、前年に比べ減少していることから、薬剤散布の労力軽減にも繋がったと考えられた。

○ 今後の方向性

- ・天敵農薬については、基本的な使用方法（ゼロ放飼、放飼時期、農薬の選択等）及び殺菌剤の予防散布を重点に指導しながら推進を実施する。
- ・土着天敵のハウスでの活用についてはさらに検討が必要である。

実施機関： 那須農業振興事務所経営普及部 実施場所： 大田原市

問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315